

11月定例会での勝川議員の一般質問(その2)

保育所・学童保育所待機児童対策の来年度見通しについて

来年度待機児童をうまないとため、保育・学童保育の整備を

◆勝川 学校には待機児童はない。保育においても待機児童をうまないと責任を持つた対策をとるべきである。子育て世代にとって保育は切実な要望である。

来年度4月に向けて、緊急対策もとり、必要な保育所・学童保育所を整備していただきたい。入所調査も前倒しして、計画の見直しもする必要はある。

掛川市保育園待機児童数

79名(2017年12月末現在)

※国定義の待機児童数には認可園を希望しながら無認可保育園に預けている方・保育園に入らず育休を延長している方・現在求職中の方などはカウントされず、隠れ待機児童数を含めると市の調査でも250名を超えると報告されています。



今年度掛川市で学童保育を利用している児童数とその割合は...

	入所者数	利用率
1年生	379名	34.7%
2年生	321名	29.6%
3年生	192名	17.1%
4年生	113名	10.1%
5年生	56名	5.2%
6年生	30名	2.9%

(2017年11月現在・6年生のみ5月現在)

今年4月に小学校に入る児童数は1061名(2017年9月時点)なので今年度の1年生の利用率34.7%を単純に掛けると368名です。入所枠を広げない限り、希望者全員が入ることはできません。

◇市長&こども希望部長

保育所は企業主導型保育事業で69人、認可保育園への移行で、認可保育園定員が40人増。保育所は来年度入所希望者が2464人、認可保育施設定員が2348人。現時点で116人の定員超過。ここは認可外や企業主導型保育の紹介や、幼稚園の預かり保育の利用促進をはかる。

学童保育はまだ入所受付中で数字が出ていない。第一小など要望が出ているのもわかっている。対処療法でもなんとかなしなればいけないという思いはある。想定したものを書きつつと計画的につくっていくかなくてはいけないという指示はだしているが、緊急対策に追われて十分な計画が示されてきていない。子育て会議で見直しをしている。



掛一小学童保育所ひまわりクラブ

第一小学童保育所ひまわりクラブでは保護者・指導員のみなさんが学童保育の増設と緊急措置を求めて、署名活動や市長交渉などを行いました。緊急処置として、3ヶ所目の増設を行う方向で準備が進んでいます。定員オーバーの西山口小でも、校内施設を改築して受け入れ増が図られる予定です。

平成29年度掛川市一般会計補正予算に反対しました

反対理由①必要最低限の市民要求に応える補正予算が組まれていない。(待機児童解消のための保育所・学童保育所増員の処置・申し込み多数だった住宅リフォーム助成の補正増額など)

反対理由②松ヶ岡整備に関して、基金を取り崩してクラウドファンディング返礼を2割程度にまで大幅増額していく措置を提案している。又、ふるさと納税をあてて、教養館としての整備をすすめる方針を示した。市民参加で意見を聞き、納得のいく計画を立ててからお金を使うべきではないか。

市民団体の市との

懇談会に同席しました

生活と健康を守る会&

掛川市の医療をよくする会

要望書に基づいて交渉

滞納による差し押さえの実態が、市側が説明する「法律に沿って、生活の実態等を考慮している」とはとても思えない。ケースワーカーなどの福祉のプロを配置した心の通う市民が相談しやすい窓口が必要ではないか。介護保険料の減額、国保税の増額をせず、減免など低所得者への配慮ある運用を!

民主商工会



市が制定を進めている中小企業・小規模事業所基本条例を実のものとしていくための努力を。住宅リフォーム助成の拡充を。